

# 平成29年度 予算審査から

平成29年度当初予算4議案及び平成28年度補正予算1議案は、全議員で構成する予算特別委員会を設置し、審査しました。まず補正予算案を審査し、賛成全員で可決しました。当初予算は、概要説明を受けたのち、企画総務、地域保健福祉、子育て文教の3つの分科会を設置し、それぞれ所管部分の詳細な調査を行いました。分科会の調査報告を受け、総括質疑を終えたところ、平成29年度一般会計予算に対する減額修正案が2件提出されました。その後、採決に入り、減額修正案は九段中等教育学校増築整備費を減額する案を賛成多数で可決すべきものとし、当初予算4議案は、いずれも賛成多数で可決すべきものとなりました。また、執行機関に対して新年度予算を執行するにあたって、10項目の要望を求めた附帯決議案の提出があり、採決したところ、賛成全員で可決すべきものとなりました。

## 予算特別委員会における討論

### 【反対の意見】

第1に、東京一極集中と大型開発を進めるまちづくり予算であること。第2に、国保料や事業所ごみ処理代の値上げ、軽減措置廃止等の区民負担増。第3に、九段中等教育学校増築整備や四番町施設整備等、区民と関係者の声を軽視する姿勢が目立つ予算であることから各会計予算に反対する。(飯島)

都政改革を推進する小池都政とタッグを組んで区民の支持を得た石川区政5期目の予算の多くに、情報公開を進んで行ったとは思えない内容を多く含んでいた。議会に基本構想も示さず、住民にも説明がないまま、計画段階となり、区民不在、議会不在の予算であることから反対する。(小枝)

### 【賛成の意見】

四番町施設等の整備事業では、区民・議会との不十分な合意形成が明らかになった一方で、新年度予算は「豊かな地域社会」の実現に向け、総合的かつ計画的な事業展開が図られていることが確認できた。毎年指摘しているが、区民や議会に対する説明責任、円滑な事業実施を期待し賛成する。(永田)

目標とする「豊かな地域社会」の実現に向けて積極的な予算となった。特に、障がい者への合理的配慮の推進、路面下空洞調査、ごみの減量への2Rの推進など評価できる。一方、九段中等教育学校増築整備については、議会の指摘を重く受け止め、ベストな教育環境の調査検討を求め賛成する。(大串)

唐突の感が免れない九段中等教育学校増築整備や四番町保育園・児童館等整備の2棟一体計画に疑問を持ち、減額修正は妥当である。しかし、外神田一丁目計画で出張所建設地の都有地の取得が決定し、不安材料が解消できた。今後は、スピード感を持って着手することを求め賛成する。(寺沢)

質疑の中で、執行機関は説明不足や手順手続きに問題があるのではないかと議会から不信感や疑義が持たれ、反省することは多々ある。一旦立ち止まり是正すべきは是正し、住民など関係者の意見を多く取り入れ、丁寧に説明を重ね、区民に寄り添った区政を要望し賛成する。(岩田)

九段中等教育学校増築整備では、連絡通路設置時には、隣地より10m離すべきことを知らずに計画され、また、校舎増築計画は構想段階であるのに基本・実施設計予算が計上されており、減額は妥当。しかし、お茶の水小学校・幼稚園は現地建て替えが基本であること等が確認できたので賛成する。(たかざわ)

2017年度予算は、ちよだみらいプロジェクトに掲げられた施策の実現に必要な予算が明示されたが、九段中等教育学校増築整備に関しては議会、教育委員会に適時な報告もなく計上され、減額修正はやむを得ない。しかし、周産期メンタルヘルスケアのスタート等は評価できるので賛成する。(岩佐)

九段中等教育学校増築整備や(仮称)区立麹町仮住宅整備等に関する予算は、目的・効果・経緯経過が不透明なまま計上された。一方、保育士への処遇改善や住宅福祉の推進等が予算化された。今後、執行機関は議会との意思疎通をしっかりと図り、迅速かつ円滑な執行を求め賛成する。(池田)

## 各会計予算の規模

(単位：百万円)

会計名	平成29年度	平成28年度	増(△)減額	増(△)減率
一般会計	54,599	55,858	△1,259	△2.3%
国民健康保険事業会計	6,091	6,104	△13	△0.2%
介護保険特別会計	4,538	4,551	△12	△0.3%
後期高齢者医療特別会計	1,587	1,538	50	3.2%
全会計合計	66,816	68,050	△1,234	△1.8%

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

